

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年1月18日

事業所名 出雲サンホーム地域福祉サービスセンターソレイユ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・広さは十分にあるので、コロナ対策においても十分だと思う。	
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		2	・担当内で会議を行い、意識統一している。 ・ミーティングや支援会議を活用し、情報共有を行っている。 ・月1回支援会議を開催し、振り返りや個々の療育方法を確認し、業務改善に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		1		・アンケート調査を実施しているが、その意向が業務改善に繋がっているかは分からない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		1	・リモートで研修を受けた。 ・オンライン研修も活用し、より参加出来る様になっている。 ・感染症予防の為、オンライン研修等の参加に努めた。	・リモートで研修に参加する機会があったが、短時間だったので、もう少し参加出来る方が良い。 ・研修の時間と療育の時間が重なる事も多いので、オンライン等の研修は引き続き活用していきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			・アセスメント用紙を保護者に記入して頂き、不明な点等は、送迎時や電話で詳しく聞いている。 ・年2回個別支援計画を作成。都度、アセスメントを実施し、計画の見直し(評価)、新たな活動に向け支援を行っている。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				・児童全員とは言えないが、コミュニケーションがとりにくい児童には使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・立案の時間を設け、活動内容を決め、事前の準備を行っている。 ・時間を設け、児童一人ひとりに合わせたプログラムを計画している。 ・活動の計画や進行状況等を確認する時間を設けている。 ・月1回の支援会議、活動内容についての話し合いの日を設け、プログラムを検討し、立案に努めている。	・立案は主担当に任せてしまっているのが、関わるスタッフが参加出来るが良い。 ・月に1回のスタッフ全体の支援会議では、情報の共有や検討事項等の話し合いを行っているが、細かい進行状況等の確認をスタッフ全体で周知出来るが良い。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の活動を取り入れたり、机上の活動ばかりではなく、体を動かす活動を入れ楽しむ工夫をしている。 ・季節や旬も配慮し、プログラムを立案している。 ・週1回、主担当で活動内容の検討を行う時間を設け、その際、季節を感じたり、多分野の活動の計画を行っている。 ・個々の状況等に応じた活動や、他者との関りも持てるように工夫している。 ・B障害の度合い、季節に応じた活動を行っている。 	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間が長い時は、集中して取り組む活動を取り入れる等している。 ・週1回、主担当で活動内容の検討を行う時間を設け、その際、季節を感じたり、多分野の活動の計画を行っている。 ・細やかには出来ていない部分はあるが、机上の活動や運動系の活動が続かないよう、また、対象児が興味を持って取り組めるような対応を行っている。 ・個々の目標や課題に合わせて設定するよう努めている。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に応じて、様々な活動を検討し、実施している。 	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		2	<ul style="list-style-type: none"> ・立案の時間に、活動の進み具合の確認、次の活動の打ち合わせを行い、活動表に記載し、情報共有を行っている。 ・毎日は出来ていないが、1週間に1回、活動の計画をする時間を設け確認している他、支援終了時に振り返りを行いつつ、次の支援の確認を行っている。 ・担当スタッフ間の情報共有を図り、連携を図りながら支援出来ている。 	・打ち合わせを行っているものの、役割分担までは、しっかりと確認できていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		2	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる事がある際には、都度情報共有を行っている。 ・情報共有の為にノート等も活用している。 ・担当者間で振り返りを行い、次回の支援に繋げている他、共有ノートを活用し、その日不在の職員にも情報が共有できるようにしている。 	・特記事項などがあつた時は、振り返りを行い、情報共有を行っているが、必ず毎日行っていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の様子を支援終了後に記録している。 	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回モニタリングを実施し、支援の確認を行い、次の支援に向け、計画の見直しを行っている。 	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7					
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・学校での様子、ソレイユでの様子について、送迎時に申し送りを行っている。土曜利用児等、学校送迎をしていない方は、学校のノートより情報収集を行っている。 ・学校の伝達事項やご利用児の保護者より、学校の文章を見せて頂き、時間調整を行っている。 ・家族を通じ連絡を取るようになっている。 ・必要時、学校お迎え時、先生からも情報をもらうようになっている。 	

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	3	・直接的な連絡体制は整えていないが、受け入れの際に、連絡体制を確認したり、相談支援専門員を介し確認してもらっている。	・医療的ケアを必要とする児童を受け入れていない為分からない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			・利用開始前に情報収取を行い、職員間で共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			・支援会議など。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	2	・保育園が同じ建物にあるので、関わる機会がある。 ・生活介護事業、通所介護事業で来られている方と、世代間の交流の機会がある。 ・保育園が隣接している。新型コロナウイルス対策の為、積極的な交流は図れていないが、環境は整っている。 ・コロナ禍において、交流の機会はないものの、保育園が隣接していて、環境は整っている。	・児童クラブや児童館との交流はないが、隣接する保育園との交流はある。現在は感染症の流行に伴い、実施は出来ていない。感染が収まれば、交流を再開したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・送迎時や連絡帳を活用して行っている。 ・お迎えに来られた際など、家族と情報交換している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		1	・相談があった際には行っている。 ・相談支援専門員とも連携を図りながら、適切な助言に努めている。 ・お迎えの際に様子を伝えたりすることで、悩み等話す機会が出来ていると思う。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防の為、地域住民との交流を行っていない。 ・コロナ禍の中、地域の方々を招くことは出来ていないが、法人、施設としても地域との交流は大切にしており、招待だけでなく、地域へ出向くことにも力を入れている。 ・コロナ禍において、地域の方々と接する機会がないが、交流を再開された際には、広く地域に呼び掛けていく。 ・新型コロナウイルス感染予防の為に、現在は出来ていない。今の状況が変われば検討が必要かもしれない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2		5		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルについて、職員は把握しているが、保護者に周知されているかは不明。現在、新型コロナウイルス対策もある為、県外者と接触した時の対応等、線引きのガイドラインは必要と思う。 ・職員には周知が出来ているが、保護者に周知が出来ていないので、周知していく必要がある。 ・保護者にまでは周知出来ていないので、必要なマニュアルは見れるように、玄関に置くなどしても良いのかもしれない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		1		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が午前にある事が多く、実際に放課後の時間帯や送迎中に何かあった時にどう動くか、心配な時もある。 ・訓練が行われる時間帯に、児童が不在であり訓練に参加出来に合事が多いため、下校時間帯での訓練実施の計画を立てる必要があると感じる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		1		<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加の機会がなかった。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書までの確認はないが、利用開始前に確認し、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のアレルギーの把握は出来ている。アレルギーがある方には、家族と相談しながら、適切な対応に努めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				